



平成 29 年 1 月 13 日

各 位

会 社 名 三井松島産業株式会社
代表者名 代表取締役社長 天野 常雄
(コード番号 1518 東証第 1 部、福証)
問合せ先 取締役 常務執行役員
経営企画部長 野元 敏博
(TEL. 092-771-2171)

クリーンサアフェイス技術株式会社の株式取得(子会社化)に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 1 月 13 日開催の取締役会において、クリーンサアフェイス技術株式会社(以下、「CST」)の全株式を取得し、子会社化することについて決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 株式取得の理由

当社グループは、大正 2 年(1913 年)の創業以来、長年培ってきた炭鉱経営の知識と経験並びに高度な採掘技術を活かし、石炭生産分野を中心とした事業を展開し、日本におけるエネルギーの安定供給に取り組んでまいりました。

一方で石炭生産分野の業績は、石炭価格や外国為替等の外部要因の変動に大きく左右され、また昨今は、CO2 排出規制強化による先進国での石炭消費縮小が想定されるとともに、再生可能エネルギーやシェールガスの台頭等によりエネルギー資源を取り巻く構造変化も進んできております。

当社グループは、こうした将来のエネルギー資源ビジネスの変化に対応し、収益基盤の安定化・多様化を図るため、成長戦略として石炭生産分野への継続的な取り組みと併せ、石炭生産分野以外での新規事業の育成・強化により、安定的な事業ポートフォリオの構築を喫緊の課題と考え、近年では施設運営受託分野や再生可能エネルギー分野、飲食用資材分野、衣料品分野等の新規事業への参入を着実に進めて参りました。これまでに取り組んできた新規事業の実績は、着実に業績面に成果として現れてきております。

この度当社子会社となる CST は、昭和 52 年(1977 年)に国内初のマスクブランクス専業メーカーとして創業以来、液晶パネル(LCD)や半導体に用いられるフォトマスクの原材料であるマスクブランクスの成膜加工を手掛け、国内外の有力フォトマスクメーカーに販売しております。同社は機械装置を内製化しながら長年に亘り事業展開してきたことで、世界トップレベルの技術を獲得しており、特に超大型液晶用・有機 EL ディスプレイ(OLED)用マスクブランクスについては独占的な地位を確保しております。今後もマスクブランクス市場は、液晶用・半導体用共に着実な成長が見込まれることに加え、超大型液晶用・有機 EL ディスプレイ(OLED)用マスクブランクス領域における新たな市場の成長も期待されます。

このように、同社は当業界においてトップ・プレーヤーとしての地位を確立し、安定した業績をあげております。当社グループは、石炭生産分野以外での新たな事業の柱の一つとして、積極的に本事業の育成・強化を進めて参ります。

2. 異動する子会社の概要

(1) 名称	クリーンサアフェイス技術株式会社		
(2) 所在地	神奈川県高座郡寒川町大曲 3-20-29		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 日高 博美		
(4) 事業内容	マスクブランクスの成膜加工		
(5) 資本金	50 百万円		
(6) 設立年月日	昭和 52 年4月		
(7) 大株主及び持株比率	ポラリス第三号投資事業有限責任組合 75.2% Tiara CG Private Equity Fund 2013, L.P. 24.8%		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。	
	人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。	
	取引関係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。	
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
決算期	平成 26 年 3 月期	平成 27 年 3 月期	平成 28 年 3 月期
純資産	3,312 百万円	3,734 百万円	1,630 百万円
総資産	5,626 百万円	4,601 百万円	4,444 百万円
売上高	2,689 百万円	2,614 百万円	2,681 百万円
営業利益	554 百万円	456 百万円	482 百万円
経常利益	559 百万円	714 百万円	643 百万円
当期純利益	664 百万円	430 百万円	439 百万円

3. 株式取得の相手先の概要

(A) ポラリス第三号投資事業有限責任組合

(1) 名 称	ポラリス第三号投資事業有限責任組合		
(2) 所 在 地	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号		
(3) 設 立 根 拠 等	投資事業有限責任組合契約に関する法律に基づく投資事業有限責任組合		
(4) 組 成 目 的	事業者への投資事業を通じて収益を得ること		
(5) 組 成 日	平成 24 年7月 11 日		
(6) 出 資 の 総 額	391 億円		
(7) 出 資 者 ・ 出 資 比 率 ・ 出 資 者 の 概 要	守秘義務の観点から開示を控えさせていただきます。		
(8) 無 限 責 任 組 合 員 の 概 要	名 称	ポラリス・キャピタル・グループ株式会社	
	所 在 地	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号	
	代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名	代表取締役 木村 雄治	
	事 業 内 容	投資業	
	資 本 金	2億円	
(9) 上 場 会 社 と 当 該 フ ェ ン ド と の 間 の 関 係	上場会社と当該ファンドとの関係	資本関係	該当事項はありません
		人的関係	該当事項はありません
		取引関係	該当事項はありません
	上場会社と無限責任組合員との関係	資本関係	該当事項はありません
		人的関係	該当事項はありません
	取引関係	該当事項はありません	

(B) Tiara CG Private Equity Fund 2013, L.P.

(1) 名 称	Tiara CG Private Equity Fund 2013, L.P.		
(2) 所 在 地	Maples Corporate Services Limited, PO BOX 309, Ugland House, Grand Cayman, KY1-1104, Cayman Islands		
(3) 設 立 根 拠 等	ケイマン諸島免税リミテッド・パートナーシップ法に基づくリミテッド・パートナーシップ (Limited Partnership)		
(4) 上場会社と当該ファンドとの間の関係	上場会社と当該ファンドとの間の関係	資本関係	該当事項はありません
		人的関係	該当事項はありません
		取引関係	該当事項はありません
	上場会社と無限責任組合員との関係	資本関係	該当事項はありません
		人的関係	該当事項はありません
		取引関係	該当事項はありません

4. 取得株式数、及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0 株 (議決権の数 : 0 個) (議決権所有割合: 0%)
(2) 取得株式数	20,000 株 (議決権の数 : 20,000 個)
(3) 取得価額	クリーンサアフェイス技術株式会社の普通株式 4,000 百万円 デューデリジェンス費用等(概算額) 20 百万円 合計(概算額) 4,020 百万円
(4) 異動後の所有株式数	20,000 株 (議決権の数 : 20,000 個) (議決権所有割合: 100%)

5. 日程

(1) 取締役会決議	平成 29 年 1 月 13 日
(2) 株式譲渡契約締結	平成 29 年 1 月 13 日
(3) 株式譲渡予定日	平成 29 年 2 月 1 日

6. 今後の見通し

本件に伴う当社連結業績への影響は、現在精査中であるため、判明次第速やかに開示いたします。

7. 三井松島産業株式会社 新規事業への取組みについて

別紙

以 上


三井松島産業株式会社
 MITSUI MATSUSHIMA CO. LTD.

新規事業への取り組みについて

クリーンサアフェイス技術株式会社の子会社化



CST = Clean Surface Technology

(きれいな表面技術)

“ガラス基板に、金属の膜を貼り付け
鏡面のような表面にする
世界トップレベルの会社”

会社概要

社名 : クリーンサアフェイス技術株式会社 (CST社)

事業所 : 本社 寒川工場 (神奈川県高座郡)
江刺工場 (岩手県奥州市)

従業員数 : 125名 (平成28年7月現在)

事業概要 : マスクブランクスの成膜加工等

*マスクブランクスは薄型テレビの画面や半導体の複雑な電子回路の製造に必要な「フォトマスク」の材料に活用される

業績 (平成28年3月期)

売上高 : 2,681百万円

営業利益 : 482百万円

経常利益 : 643百万円

当期純利益 : 439百万円

純資産 : 1,630百万円

総資産 : 4,444百万円

■主力事業・強み

- 昭和52年(1977年)に**国内初のマスクブランクス専業メーカー**として創業
- 成膜加工したマスクブランクスを国内外の有カフォトマスクメーカーに販売しており、**優良な顧客基盤を保有**
- **機械装置を内製化**することで、高いコスト競争力、最新の顧客ニーズに即した対応を実現するなど**世界トップレベルの技術を獲得**
- **超大型液晶用・有期ELディスプレイ(OLED)用マスクブランクス**については**独占的地位**を確保

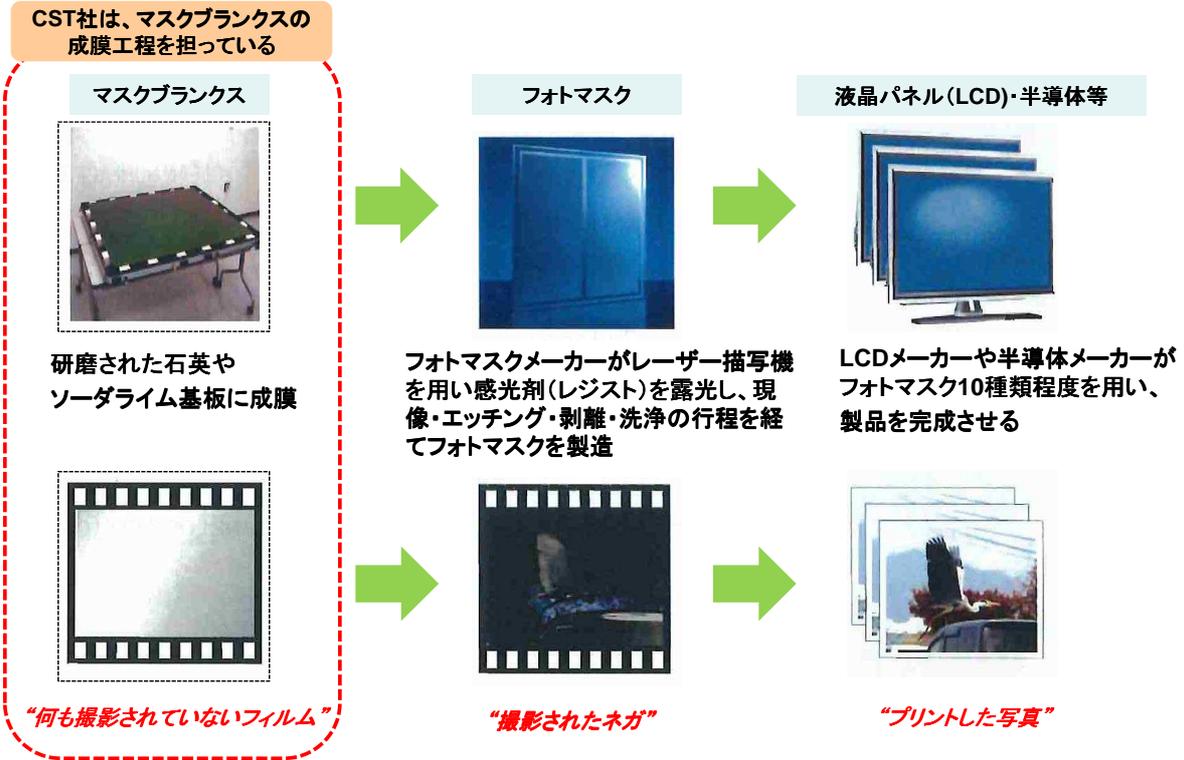
■今後の成長性

- マスクブランクス市場は、**液晶用・半導体用共にスマートフォンや車載関連等**によって**着実に成長**しており、**同社業績も安定的に推移する見込み**
- 同社の強みである**超大型液晶用・有機ELパネル(OLED)用マスクブランクス**は、**新たな市場として拡大の見込み**であり、更なる成長が期待できる



参考① マスクブランクスについて

◆ 写真撮影の流れに例えると...フォトマスクを写真のネガに例えると、何も撮影されていないフィルムがマスクブランクス



参考② バリューチェーン イメージ

- ◆ マスクブランクスは薄型テレビの画面や半導体の複雑な電子回路の製造に必要な**フォトマスク**という原版に活用される。
- ◆ CST社は**マスクブランクの成膜工程**を手掛けており、石英等の研磨済みのガラス基板を基盤メーカーより仕入れ、**成膜処理**を施したうえで**マスクブランクスをフォトマスクメーカーに販売**している。



これまでの取り組み①

施設運営受託分野 株式会社エムアンドエムサービス

- ◆ 平成24年（2012年）7月株式取得
- ◆ お客様の心に残る**高品質なサービスと長い経験から学んだ独自の運営ノウハウ**で、日本各地の民間企業・地方公共団体が保有する保養所・研修所・その他施設の運営受託事業を展開。

< 直営3施設 >

里山の休日 けぶりかわ
京都・烟河



里創人
熊野倶楽部
Resort-KUMANO CLUB



八ヶ岳 ホテル風か



- ◆ 今後は**九州地区を含め**運営受託事業の全国展開を推進
- ◆ 株主優待制度として、**㈱エムアンドエムサービス施設宿泊割引券(3,000円分)**を提供。

注) 毎年3月末および9月末の株主名簿に記録された、当社株式1単元以上保有の株主様が対象

5

これまでの取り組み②

再生可能エネルギー分野 MMエナジー株式会社

- ◆ 平成25年（2013年）3月から発電開始。
- ◆ 福岡県福津市内にある当社社有地(約10万㎡)を利用して、6MWの太陽光発電所を運営。年間発電量は、一般家庭約2,000世帯分の年間消費電力に相当。
- ◆ 2016年7月から更にパネルを増設、効率的な発電を実施している。



6

これまでの取り組み③

介護分野 MMライフサポート株式会社

- ◆ 平成26年1月に事業運営会社を設立、介護事業に参入。
- ◆ 福岡市早良区の都心に近い恵まれた立地に、介護と医療が連携した“安心して暮らせるサービス付き高齢者向け住宅”2棟を運営。
(パインガーデン室見・パインガーデン藤崎)
- ◆ 「**親を住ませたい。将来自分たちも暮らしてみたい。**」をコンセプトに、超高齢社会のニーズを先取り、ご利用者に寄り添う介護事業(居宅介護支援・訪問介護・デイサービス)を展開。



◆ 今後も、拡大する高齢化を真摯に見据えて、**質の高いサービス**を提供。

7

これまでの取り組み④

飲食用資材分野 日本ストロー株式会社



- ◆ 平成26年(2014年)2月株式取得
- ◆ 昭和58年(1983年)の伸縮ストロー開発以来、業界の先駆者として独自の技術・ノウハウを蓄積し、**ストローの国内リーディングカンパニー**としての地位を確立。
国内伸縮ストローの市場で圧倒的な市場シェア(約65%・当社調べ)。
- ◆ 優良顧客(大手乳業・飲料メーカー等)からの高い信頼と評価による**安定的な取引基盤**を構築し、**堅調な業績**を達成。



伸縮ストロー



シングルストロー



紙カップ

- ◆ 平成22年(2010年)から**シングルストロー**の製造を開始、コンビニエンスストアで展開されるセルフ式アイスコーヒー用などへの需要拡大。ストローのほか、**フードウェア商品**(飲料用紙カップ、食品用容器等)も多数ラインアップを揃え、幅広い取引先を有する。
- ◆ 消費者へ**安心・安全・便利、高品質なストロー**を提供するために、**人と環境にやさしい製品づくり**に取り組んでいる。

8

これまでの取り組み⑤

衣料品分野

花菱縫製株式会社

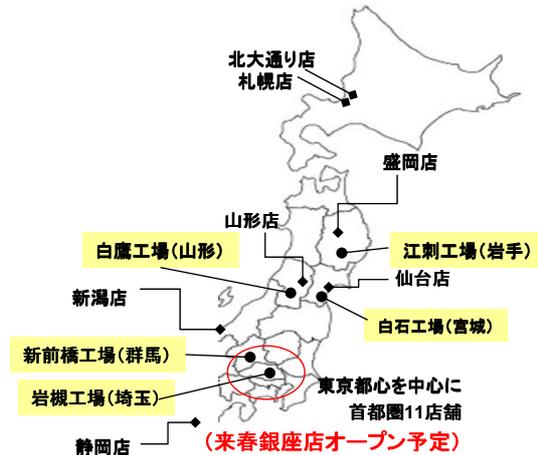


HANABISHI
THE TAILOR OF JAPAN SINCE 1935

- ◆ 平成27年(2015年)10月株式取得
- ◆ 昭和10年(1935年)創業、「オーダースーツ」の先駆者として、商品開発から生産・販売までの国内一貫体制による事業を展開。大手百貨店や多くの消費者から高い評価を得るなど、確固たる取引基盤を有し、安定した業績で推移している。



- ◆ 国内5つの自社工場にて製造。
東北・関東を中心に直営18店舗を展開。



- ◆ 今後は西日本地区への進出、障がい者対応スーツの開発、婦人服の需要増加等、更なる成長可能性を有する。

新規事業の育成による収益の安定化・多様化

近年の新規事業の営業利益推移(のれん償却前)

